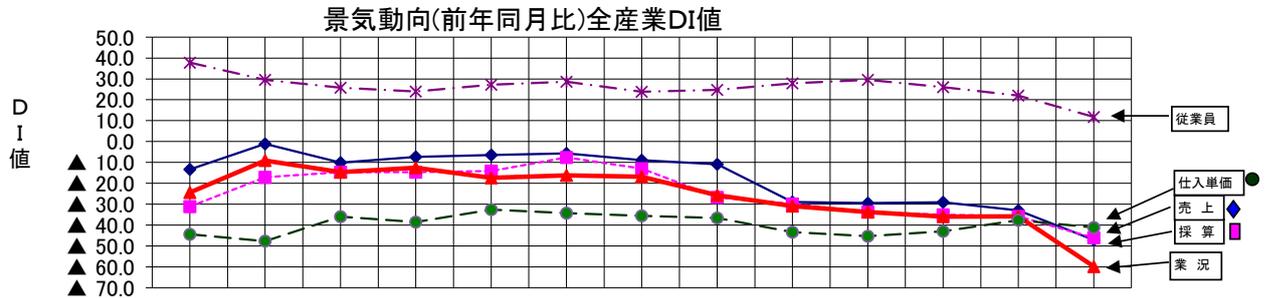


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 3月分

【3月の概要】 新型コロナウイルスの影響で売上・採算・業況は悪化、先行きも厳しい状況

2月の業況判断に比べると、売上D I、採算D I、業況D Iはマイナス幅が大幅に増加した。仕入単価D Iはマイナス幅が増加し、従業員D Iはプラス幅が減少した。暖冬少雪、新型コロナウイルスによる影響が年度末の各種需要を押し下げた。

先行きの見通しについては、2月に比べ、売上D I、採算D I、業況D Iはマイナス幅が大幅に増加し、仕入単価D Iはマイナス幅が減少、従業員D Iはプラス幅が減少した。新型コロナウイルスによるイベントなどの自粛による売上減少やサプライチェーンの停滞による工期の遅延など、全業種で影響が出ており厳しい状況となっている。



【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2019年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	2020年 3月
◆ 売上	▲ 13.3	▲ 1.1	▲ 10.1	▲ 7.3	▲ 6.5	▲ 5.7	▲ 8.9	▲ 10.9	▲ 28.9	▲ 29.5	▲ 29.0	▲ 33.0	▲ 47.1
■ 採算	▲ 31.1	▲ 17.1	▲ 14.6	▲ 14.6	▲ 14.1	▲ 7.6	▲ 12.9	▲ 26.7	▲ 29.9	▲ 33.7	▲ 35.0	▲ 35.8	▲ 46.1
▲ 業況	▲ 24.4	▲ 9.1	▲ 14.6	▲ 12.5	▲ 17.4	▲ 16.2	▲ 16.8	▲ 25.7	▲ 30.9	▲ 33.7	▲ 36.0	▲ 35.8	▲ 59.8
● 仕入単価	▲ 44.4	▲ 47.7	▲ 36.0	▲ 38.5	▲ 32.6	▲ 34.3	▲ 35.6	▲ 36.6	▲ 43.3	▲ 45.3	▲ 43.0	▲ 37.6	▲ 41.2
* 従業員	37.8	29.6	25.8	24.0	27.2	28.6	23.8	24.8	27.8	29.5	26.0	22.0	11.8

売上D Iは14.1ポイント、採算D Iは10.3ポイント、業況D Iは24.0ポイントのマイナス、仕入単価D Iは3.6ポイントのマイナス、従業員D Iは10.2ポイントプラス幅が減少した。

全産業平均D I - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
1月	▲ 17.0	▲ 26.0	▲ 28.0	▲ 38.0	22.0
2月	▲ 15.6	▲ 22.0	▲ 29.4	▲ 27.5	22.0
3月	▲ 52.0	▲ 54.9	▲ 59.8	▲ 20.6	2.9

先行き見通しでは、売上D Iが36.4ポイント、採算D Iは32.9ポイント、業況D Iは30.4ポイントのマイナス、仕入単価D Iは6.9ポイントのプラス、従業員D Iはプラス19.1ポイントプラス幅が減少した。

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	設備工事	新型コロナウイルスの影響により、資材・機器の納期が遅れ工事の進捗に影響が出ている。
	土木	暖冬少雪の影響で冬季の除雪仕事が半分以下となり、資金繰りが厳しい。
製造業	食品	新型コロナウイルスによるキャンセルが続出し、売上の減少が著しい。
	機械	急速に設備投資の手控え、繰り延べが出始めてきた。先行きも不透明な状況。
卸売業	衣料	新型コロナウイルスによる影響で催事が中止となり、小売店も来客が減少し疲弊している。
	食品	新型コロナウイルスによる業務需要の落ち込みに加え、消費者の購入意欲が下がっている。
小売業	酒類	宴会の自粛により業務店向けの売上が減少、今後も厳しい状況が続く。
サービス業	広告	新型コロナウイルスによる自粛等で、イベントや各種事業の中止による影響が大きい。
	ホテル	新型コロナウイルスによる影響で、ほぼすべての宴席がキャンセルとなった。
	タクシー	年間でも多忙月となる年度末であったが、新型コロナウイルスの影響で売上が激減した。